

弘前市まちづくり 1% システム採択事業

弘前ねぶた囃子
 青森ねぶた囃子
 五所山原立佞武多囃子
 お山参詣 登山囃子
 手摺り鉦
 獅子踊 (踊り)
 冬囃子 雪灯り

第2回 津軽 笛 博 覧 会

ギネス記録も持つ津軽の笛が大集合！
 ワークショップとコンサートのコラボレーション！



と き：平成 26 年 9 月 21 日 (日)
 午前 10 時半～午後 19 時

と ころ：藤田記念庭園 / 弘前市立観光館

入園料：大人 310 円 / 子供 100 円 (藤田記念庭園入園料として)
 主 催：津軽笛地域づくり実行委員会
 後 援：弘前市、弘前市教育委員会、五所川原市経済部観光物産課、岩木山観光協会、
 弘前観光コンベンション協会、ABA 青森朝日放送、FM アップルウェーブ、
 NHK 青森放送局、東奥日報社、陸奥新報社、邦楽ジャーナル、津軽藩ねぶた村、
 青森市文化観光交流施設 ねぶたの家ワ・ラッセ (順不同)
 お申込・お問合せ：津軽笛博覧会事務局 0172-33-9359 (喫茶れもん)
 または、津軽笛博覧会 Web サイト <http://tsugarubue.jp/event01/>

会場のご紹介

藤田記念庭園は日本商工会議所会頭も務めた実業家である藤田謙一が、1919年(大正8年)に郷里である弘前市に別邸を構える際に東京から庭師を招いてつくらせた江戸風な景趣の庭園です。園内は、高さ13mの崖地をはさんで高台部と低地部に分かれており、高台部は岩木山を借景した洋風庭園で、低地部は池泉回遊式の日本庭園となっています。総面積は約21,800㎡に及び、東北地方でも有数の大規模な庭園です。



津軽笛博覧会

平成26年9月21日 (日) 10:30 ~
藤田記念庭園 / 弘前市立観光館

ワークショップ講師・コンサート出演者のプロフィール

青森わの會

ワークショップ&コンサート



ねぶた囃子の演奏を中心に活動する祭好団体。青森ねぶた祭ではパナソニックねぶた会の囃子方を長年担当し、平成22年商工会議所会頭賞(総合4位)を獲得。ねぶた囃子の他に、お山参詣第65回県下登山囃子奉納本大会では松組優勝と竹組準優勝の組を輩出。また、活動の領域は祭囃子の演奏だけでなく、青森市善知鳥神社神輿渡御や十和田市秋祭り中央町内会組神輿渡御にも毎年参加。

心組

ワークショップ&コンサート



五所川原市の大型立佞武多の囃子方として、毎年お祭りに参加しています。会員は大人から子供まで総勢200人。今迄の活動は、2004年の大晦日に日本テレビの「ぐるナイ」のスペシャル番組に出演や月1回、立佞武多の館でのお囃子の実演など、多方面のイベントで活躍をしています。津軽に伝わる色んな囃子を勉強すると共に、1人でも多くの人に祭の良さを知ってもらおうと活動中です。

鳥井野獅子踊保存会

ワークショップ



踊りは一人立ちの三匹獅子で、男獅子、中獅子、女獅子とオガシ(猿)で構成。囃子は笛と手平鉦と太鼓で構成される。獅子の踊り手は、「獅子ガシラ」と呼ばれる「木彫りの獅子の頭部に大きな幕を取り付けたもの」を頭上に被り、全身が幕のなかに入った状態で腰を落として踊る。重さのある獅子頭を頭の上に掛けて、それを大きく振る動作や、幕を腕に巻きつけたり、振り出したりする動作、素早く床や地面の上に坐り、また立ち上がる動作などが基本になっている。そのため、体の動かし方には様々な工夫や技が必要になる。毎年恒例行事としては、7月16日に地元の白山姫神社祭礼にて奉納や旧暦の8月の十五夜の行事がある。演目は「街道踊り」「橋渡りの踊り」「女獅子隠しの踊り」「三本山の踊り」がある。ほぼ毎週土曜日の夜、鳥井野集会所で稽古を行っている。

丹代智大

ワークショップ



幼少よりねぶた祭りに携わりつつ、登山囃子を覚え始める。2008年、お山参詣登山囃子本大会において中田組メンバーとして松組へ昇格。その後指導にも力を入れ後継者育成に積極的な活動を行う。2014年には、新囃子「雪灯り」の鉦パートの制作を担当し、賞賛を浴びる。

津軽笛の會

ワークショップ



「津軽笛」を軸に津軽の郷土芸能をより良い形で伝承、また創造して行こうという趣旨で2008年より活動を行っている団体。2011年に3,742名の横笛合奏世界記録を樹立した「ねぶた囃子でギネスに挑戦」をはじめ、受講者が4,000人以上に及んだ「ねぶた笛出前講座」、次世代を担う高校生に海外で演奏するチャンスを提供し、グローバルな目線で津軽の文化を発信する土壌を作る「次世代育成プロジェクト」、今まで津軽には存在しなかった冬の囃子創作など津軽の郷土芸能振興に努める活動を継続的に行う。また、フラッシュモブのねぶた囃子版「ねぶた囃子で笛ッシュモブ」事業も展開、「世界一祭り囃子が似合う街津軽」体現へ向け、真剣・楽しく・シユールにをモットーに活動へ励む。

藤田記念庭園

会場

上白銀町から馬屋町に広がるこの庭園は、弘前市出身の実業家 藤田謙一が、大正年間に別荘として造らせたものです。面積は、2.18ヘクタールあり、高台部には登録有形文化財の洋館、和館、考古館などのほかに、岩木山を望む庭園が広がり、低地部には茶屋もあり、四季折々に自然を楽しむことができます。

鎌田組・工藤組・木村勝組

コンサート



お山参詣 登山囃子

岩木山への登拝行事「お山参詣」で演奏される囃子。元々青森県津軽地方で広く演奏され、現在ではお太鼓グループを中心に全国各地で演奏されている。地区や師匠により節回し・使用される笛の寸法・音色の出し方で異なる部分があり、懐の深さ、幅の広さを感じる。演奏の難易度は全国でも指折りであり、一人前になるまでに最低10年はかかることも。毎年津軽地方各地で競演大会が行われているが、最も権威のある岩木山神社での本大会竹組(一般の部)優勝者は最高位の松組へ昇格する。第58代松組 東青支部 木村勝組 第61代松組 西北五支部 工藤貴美雄組 第64代松組 中弘南支部 鎌田和希組の三組が演奏を披露する。それぞれの笛の旋律、鉦、太鼓の鼓動の刻みの違いをお楽しみいただきたい。

尾崎獅子踊保存会

コンサート



獅子踊

獅子踊りは津軽地方を代表する郷土芸能のひとつで、青森県の西側半分、かつて弘前城を中心とした「津軽藩」と呼ばれた地域に伝承されています。踊りは「お可笑コ(おかしこ)」と呼ばれる猿の面をつけた先導役と三匹の獅子、そのうち二匹は雄獅子で一匹は雌獅子です。それに笛、太鼓、手平鉦の囃子方、謡手で構成されています。尾崎獅子踊は室町時代末期に起こったといわれ、地区の城主のお抱え獅子だったとも伝承されています。昭和36年に青森県無形文化財の指定を受け、津軽の獅子踊を代表するその技は高い評価を得ています。

囃子集団 雷響組

コンサート



夜神楽

正調黒石ねぶたばやし保存会・もつけ太鼓保存会囃子組・黒石登山囃子保存会・夜かぐら保存会の4会をまとめた囃子組です。囃子の伝統文化の継承と子供たちの健全育成を目的として、黒石ねぶた祭りの参加と、県内外のイベントに参加して黒石市をPRしています。

当日のスケジュールと内容

- 初心者向け
- ねぶた笛(地元のねぶたねぶたの笛)が吹ける方向け。
- 鑑賞会ですのでどなたでもご鑑賞いただけます。

A会場 (藤田記念庭園・和館)	
10:30 ~ 12:00	● 青森ねぶた囃子 ※青森ねぶたの笛が必要です。演奏法についての紹介とレッスンを本場から講師を招き行います。
13:30 ~ 15:00	● 五所川原立佞武多囃子 ※立佞武多の笛が必要です。演奏法についての紹介とレッスンを本場から講師を招き行います。
15:30 ~ 17:00	● 手摺り鉦講座 ※手摺り鉦が必要です。演奏法についての紹介とレッスンを特別講師を招き行います。

B会場 (藤田記念庭園・茶室)	
10:30 ~ 12:00	● 初めての弘前ねぶた囃子 ※弘前ねぶたの笛を持参ください。音が出ないという方から弘前ねぶた囃子を覚えたい方まで津軽笛の会が懇切丁寧に教えます。
13:30 ~ 15:00	● お山参詣 登山囃子 ※登山囃子の笛が必要です。演奏法についての紹介とレッスンを津軽笛の会が行います。
15:30 ~ 17:00	● 冬囃子「雪灯り」 ※八本調子のドレミ笛が必要です。祭囃子とは違った冬の囃子を作成いたしました。紹介とレッスンを津軽笛の会が行います。

C会場 (弘前市立観光館・多目的ホール)	
10:30 ~ 12:00	● 特別講座 獅子踊 踊り入門
13:30 ~ 15:00	獅子踊についての紹介と踊りのレッスンを特別講師を招き行います。

ランチタイムコンサート (藤田記念庭園・洋館)	
12:40 ~ 13:20	● 若者達によるコンサート 次世代を担う若者達のさらなる進化を期待し、若者が出演するコンサートをランチタイムに開催いたします。オリジナル曲がメイン。

お月見コンサート (藤田記念庭園・和館)	
18:00 ~ 19:00	● 講師陣やゲストによるコンサート 青森ねぶた・五所川原立佞武多・黒石夜神楽・登山囃子対決獅子踊・冬囃子「雪灯り」